

2023年度厚生労働省医政局委託事業
「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」

連携型BCP/地域BCP策定モデル地域
北海道札幌市中央区における取組み

旦尾真澄(あさお司法書士事務所)、井上道夫(札幌溪仁会リハビリテーション病院)、大河原摂(中央区第一地域包括支援センター)、大友宣(静明館診療所)、香川隆樹(厚生堂薬局)、加藤なな(北海道在宅ケア事業団)、鎌田宏典(慈啓会病院)、黄田敦子(中央区第二地域包括支援センター)、小林智巳(中央区第三地域包括支援センター)、小松洋子(札幌市社会福祉協議会)、斉藤俊輔(斗南病院 MSW)、笹岡佑樹(札幌溪仁会リハビリテーション病院 薬剤科)、庄武美加子(小樽市立病院がん専門相談員 中央区在住)、田上幸輔(静明館診療所 MSW)、中山大樹(札幌溪仁会リハビリテーション病院退院支援セラピスト作業療法士)、松田諭(ファミリークリニックさっぽろ山鼻)、宮本幸(宮本歯科医院)、森田勇一(株式会社ライフドリーム)、大和幸子(えがお)、吉田正幸(メトロ調剤薬局啓明店)

北海道札幌市中央区の状況

基本データ

- 人口 253,864人
- 世帯数 148,235世帯
- 面積 46.42km²
- 人口増減率（2015～2020年）4.65%
- 高齢化率（65歳以上・2020年）23.10%
- 人口密度（2020年）5,357.20人/km²

地域の特徴

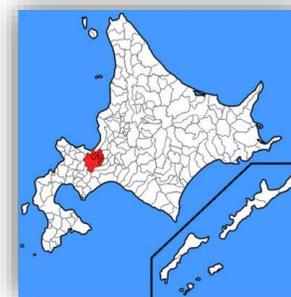
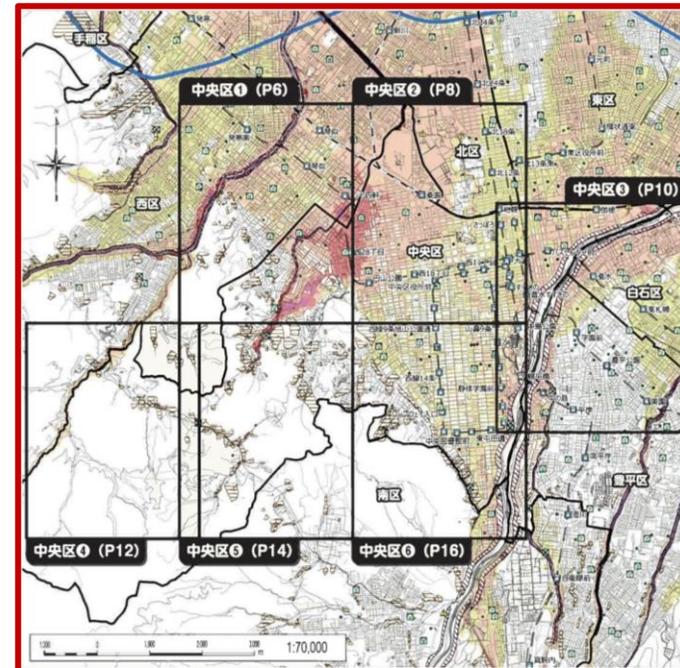
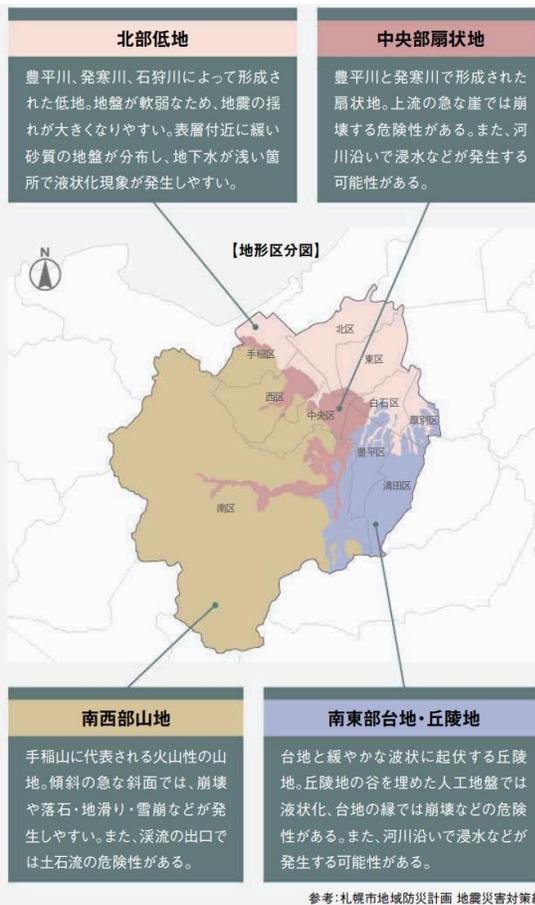
- 札幌市の中心部のみならず、北海道の中心部となっている。大きな商業圏や駅などがある一方で河川や山などが存在している。人口は今後もしばらく増加傾向にあり、特に北海道内からの高齢者の流入が多くなってくると言われている。高齢者住宅や施設、医療機関も多くある。

災害等の歴史（洪水の変遷）

- 直近ではブラックアウトと新型コロナウイルス感染症が災害としては考えられる。ブラックアウトでは各在宅医や在宅ケア関係者がそれぞれ災害対応を行った。組織化して対応はできておらず地域BCPの必要性を多くの在宅ケア関係者が認識できる機会となった。新型コロナウイルス感染症では、在宅ケア連絡会を中心に講演やグループワークをコロナ禍にも行うことで地域一体となって取り組んできた歴史がある。

在宅医療・ケア資源と病院等との連携

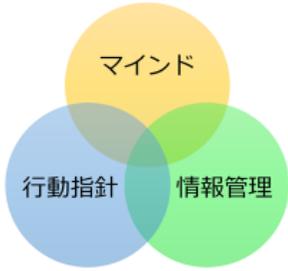
- 在宅ケア連絡会には病院関係者も入っており、上記ブラックアウトや新型コロナウイルス感染症対策においても災害において在宅ケアが重要な要素である共通の認識が形成されている。特に在宅ケア連絡会を通して、病院と在宅ケアの連携をテーマに掲げている。



北海道札幌市中央区の課題

- これまでの被災経験・コロナ対応で特筆すべきこと
 - ブラックアウトの経験は札幌市在宅医療協議会で報告をまとめた。また新型コロナウイルス感染症対応は日本在宅医療連合学会誌を通して公表されている。
- 連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由
 - 全国的にも大都市部において、地域BCPが本格的に考えられている状況にはない。行政や医師会が主体となるのではなく、本会のように在宅ケア関係者が自主的に集まっている横並びの組織において、地域BCPを策定できるかどうかをモデルとして行ってみたい。
- わが地域のBCP観点からの課題
 - 大都市部の病院や在宅ケアはそれぞれが独立した事業所として一体感がないことが特徴であるといえる。そこが課題であり、そのような中でこそ地域BCPを策定する価値がある。

BCPに必要な3つの要素



- ・ **行動の元となるのが「マインド」**
 - ・ これがないと自主的に行動することができない
- ・ **「行動指針」で重要なのは業務の優先づけ**
 - ・ これが明確になっていれば、それぞれが自主的に動くことができる
- ・ **全ての行動の根拠となるものが「情報」**
 - ・ 「情報」を明らかにし管理していくことが、適切な行動につながる

【施設名（小規模医療機関・施設版）】 事業継続計画（BCP）マニュアル

2022年8月30日（Ver1.0）

目次

序章 BCPマニュアルの前提と災害対応の原則p3
第一章 マインド（ミッション・基本方針）p4
1. 自施設の役割	
2. 災害時の基本方針	
3. 各発生段階における基本的な対応方針	
第二章 情報管理p5
1. 指揮命令系統と責任者	
2. 業務内容の整理と役割分担	
3. 情報収集先	
4. 記録の方法	
第三章 行動指針p10
1. 災害ステージの宣言	
2. 災害ステージと優先業務の設定	
第四章 平時の備えp14

【事前配布資料】

登場機関・患者/利用者一覧

今回のグループワークでは、以下の事業所（グループ）にそれぞれわか
れ、実際に周囲の状況や患者情報をやりとりしていきます。

当日、参加者のみなさんは下記の事業所に分れます。所属する事業所
（グループ）の資料をみながら当日は議論をしていってください！

※ 事前にプリントアウトしておくこと議論しやすいかと思います（別資料の記
録用紙も含め）

地域のセッティング

人口規模約2万5千人、高齢化率約30%、沿岸地域

医療福祉機関リスト

（たつまきクリニック）

- ・ スタッフ：医師1名、看護2名、事務2名
- ・ 標榜科は内科・小児科、外来診療・訪問診療を行っている。
- ・ 門前薬局としてハリケーン薬局が併設している

（ハリケーン薬局）

- ・ スタッフ：薬剤師2名、事務3名
- ・ たつまきクリニックの門前薬局。たつまきクリニックの外来診療・訪問診療への対応を行っている
が、他の医療機関からの依頼も受け対応を行っている。

シナリオ①（たつまきクリニック）

※下記について追加情報はありません。チームで追加情報を加えながら検討してください

●災害時ビジョン

- 1) スタッフのいのちと安全を最優先にする
- 2) 利用者のいのちと生活を守るケアの提供を途切れさせない
- 3) 地域住民の助けとなる

●施設プロフィール

- ・ スタッフ：医師1名、看護2名、事務2名
- ・ 標榜科は内科・小児科、外来診療・訪問診療を行っている。

●担当患者・利用者

（A）さくらますさん 婦科

87歳 女性	マンション1階（訪問診療）
医学的問題	社会的支援
・ 脳梗塞後遺症 ・ 胃ろう栄養状態	・ 82歳の妹が介護 ・ 居宅介護支援事業所やまかし（要介護5） ・ 訪問看護リハビリステーションつなみ（看護）
認知機能・身体状況	現在の状況
・ 意思疎通困難 ・ ねたきり状態で電動ベッド使用	・ 地震前日に肺炎をきたし抗生剤点滴を開始したばかり。状態次第で翌日入院を検討していた。

（C）ひのきさん 西沢町

75歳 男性	一軒家1階（訪問診療）
医学的問題	社会的支援
・ 服用症候群 ・ 訪問診療が月2回、ヘルパーが連日食事支援で入るのみ（それ以外拒否）	・ 地域包括支援センター（要支援1）、身寄りなし ・ 妄想性障害（化学物質過敏症？）
認知機能・身体状況	現在の状況
・ 「化学物質過敏症」との自己診断にて、特定の衣服しか着ない、外出を全くしないという生活。 それにより服用が進行しふらつきが強い。	・ いわゆる「閉じこもり」の生活。 ・ 外部からの介入を拒否し部屋が乱雑となっており、かなり汚い状態となっている

（D）しらかばさん 鹿島町

93歳 男性	サービス付き高齢者向け住宅2階（訪問診療）
医学的問題	社会的支援
・ アルツハイマー型認知症 ・ 高血圧	・ サービス付き高齢者向け住宅 ストーム入居中 ・ 居宅介護支援事業所やまかし（要介護3） ・ デイサービスセンターたかしお
認知機能・身体状況	現在の状況
・ 会話は簡単なことについてはやり取り可能であるが、突然大声をだして怒り出したりする不安定さがある。ADLは介助にて使い使用。	・ 全身状態は良好だが、易怒性が高く住環境等の変化があると突如大声で怒り出す傾向がある

今年度の取り組み（1）

- 目的（何を目指すのか）
 - 各事業所のBCPの作成を推進する。札幌市中央区における地域BCP策定の課題を抽出する。
- 実際にどのようなことにチャレンジするのか
 - 第1回テーマ：地域で災害に備える～連携型BCPを作ろう！～
 - 日時：10月16日（月）19:00－20:30
 - 場所：札幌市医師会館 5階大ホール
 - 中央区の連携型BCPを作るのが今年目標とする
 - ビジョン、段階ステージの優先順位、情報共有という3つの軸でグループワークを行う。
 - 第2回
 - LINEなどで情報共有のプラットフォームを作った上で2024年2月に机上訓練を行うこととする。
 - LINEを通じてコマンド&コントロールを行うことができるようにする。

今年度の取り組み（2）

- 必要な支援
 - コマンド&コントロールをどのような組織・機構で行うかアドバイスがほしい。
- 具体的スケジュール
 - 2023年
 - 10月4日 中央区在宅ケア連絡会 幹事会
 - 10月16日 中央区在宅ケア連絡会 第1回グループワーク
 - 11月1日 中央区在宅ケア連絡会 幹事会
 - 12月6日 中央区在宅ケア連絡会 幹事会
 - 2024年
 - 1月10日 中央区在宅ケア連絡会 幹事会
 - 2月7日 中央区在宅ケア連絡会 幹事会
 - 2月19日 中央区在宅ケア連絡会 第2回グループワーク（机上訓練）

今年度の取り組み（3）

- 7月1日以降の進捗
 - 第1回グループワーク企画の検討
 - チラシの作成
 - チラシ配布開始

2022年11月に誕生しました
「**中ウォークン**」です！
よろしく！

